

施工業者様用

〈施工説明書〉

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

〔商品相談窓口〕

フリーダイヤル
0120-813-331

〔受付時間〕平日8:30~17:00

〔休日〕土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

引き分け戸・3枚引き違い戸 4枚引き違い戸 専用枠

IL(I-S)S(5)-SC

レールタイプ

ピノアース 固定枠

〔標準〕両側ソフトクローズ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

両側ソフトクローズのトリガー位置が変わりますので、トリガー取付位置を必ず確認してください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。

インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・躯体に欠点がないことを確認する。

躯体接合金具を取り付ける際、躯体のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、金具が固定されず枠材がはずれる原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。

・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

・調整用戸車・レール等は消耗性部品。

引戸用戸車およびレール間に、異物が付着した状態での開閉は避けてください。長期間のご使用にあたり、開閉がしづらくなった場合には、交換(有償)をお薦めします。

・躯体接合金具の調整範囲は縦枠最大11mm上枠最大9mm。

調整可能範囲を越える場合は枠材がはずれる原因となり危険ですので、調整範囲を満たすように下地材などを入れてください。

・補強の飼木(現場調達)を入れる。

ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

施工終了後

◆養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

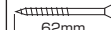
◆お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

■ 梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット							別梱包							
							敷居埋め込みの場合				床直付けレールの場合			
部材名		縦枠	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール 幕板なし (アルミ) 	木製 幕板	部材名		敷居		敷居			
入 数	引き分け戸	2本	2本	1本	1本	1本	入 数	引き分け戸	本体1本	レール1本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス13本	
	3枚引き違い戸	2本	—	1本	3本	1本		3枚引き違い戸	本体1本	レール3本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス20本	
	4枚引き違い戸	2本	—	1本	2本	1本		4枚引き違い戸	本体1本	レール2本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス27本	
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	

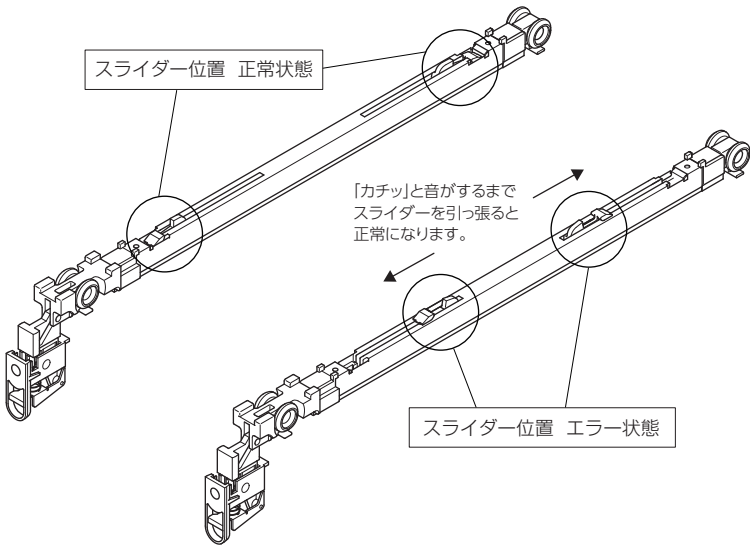
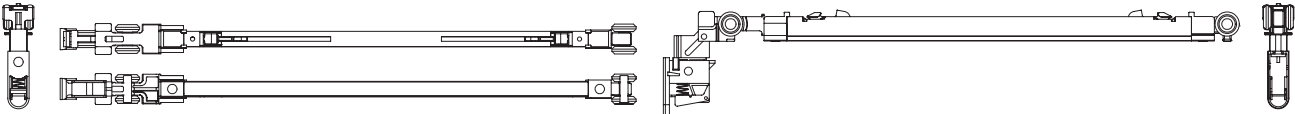
ビスセット(枠本体セットに梱包)									
袋の色			赤	赤	赤	黄	黄	透明	透明
部材名			木ダボ	組み立て ビス	下枠 固定ビス	躯体接合 金具ビス	六角レンチ	クッション キャップ	躯体接合穴 キャップ
			 6mm 35mm	 62mm φ3.8mm	 25mm φ3.5mm	 47mm φ3.8mm	 7mm L50mm	 φ16	 φ10
セット品番									
入 数	引き分け戸	ZYQH66-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個	—
	3枚引き違い戸	ZYQH69-□	2本	4本	11本	11本	1本	8個	8個
	4枚引き違い戸	ZYQH66-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個	—
備 考 (部材品番等)			—	—	床直付けレールの 場合は 使用しません。	枠と躯体の 固定に使用 できます。	—	—	—

金具セット【標準:両側ソフトクローズ】								
部材名		上部ガイド 跳ね上げ 抑制あり 	上レール 取り付け ビス (皿ビス) 	クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット) 	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット) 	下荷重扉 ストッパー 	
セット品番			18mm 3.5mm					
入 数	引き分け戸	ZYSLW	2	12本	2	4	2	1
	3枚引き違い戸	ZYSSW	3	30本	3	6	2	1
	4枚引き違い戸	ZYSIW	4	36本	4	8	2	2
備 考(部材品番等)		ZYNGA21	ZYTA01	ZYNCSW21	ZYNTG21	ZYTNC01	ZYNTS21	

引き分け戸 施工
…3ページに進んでください。

3枚引き違い戸 施工
…8ページに進んでください。

4枚引き違い戸 施工
…13ページに進んでください。



ソフトクローズ機能復帰方法

扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。

開方向

閉方向

バチン

グイ〜

グイ

バチン

扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

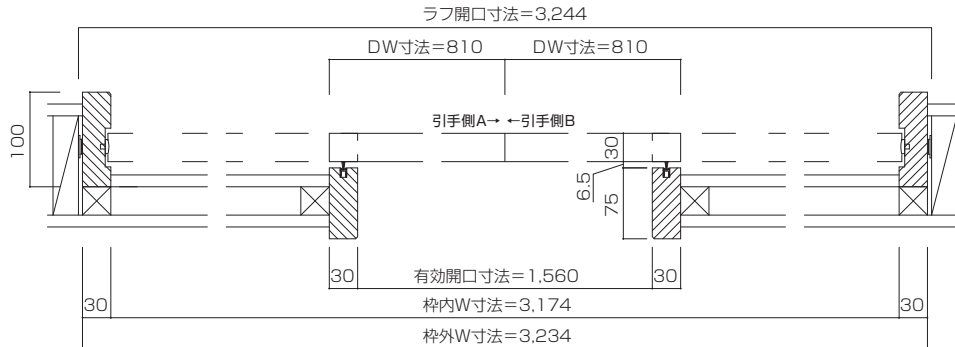
【引き分け戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

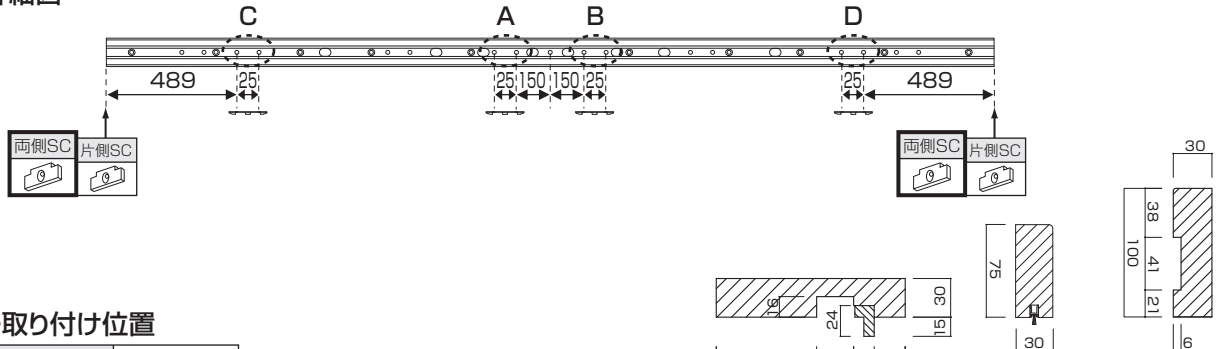
横断面図

■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



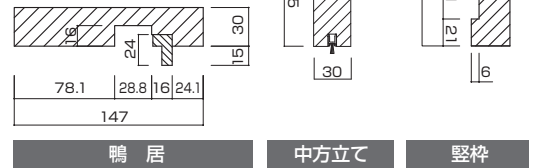
■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

両側ソフトクローズ仕様 A・B・C・D

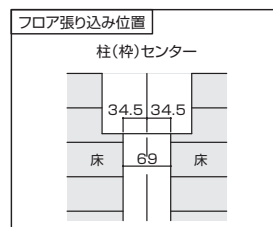
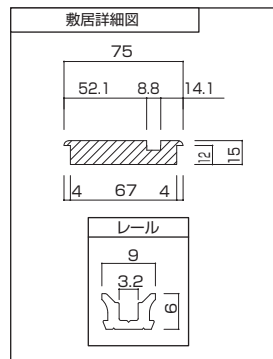
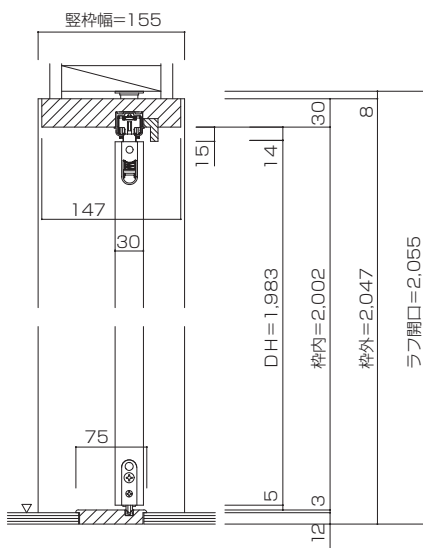
※SC…「ソフトクローズ」の略称です。



縦断面図

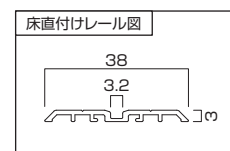
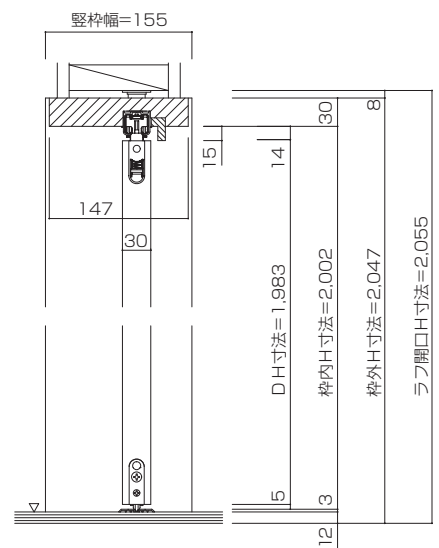
敷居埋め込みの場合

(単位:mm)



床直付けレールの場合

(単位:mm)

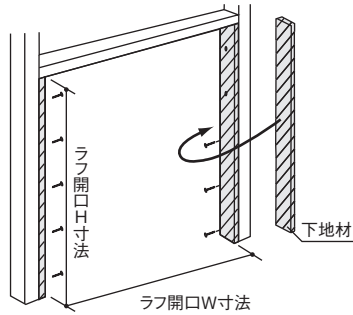


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

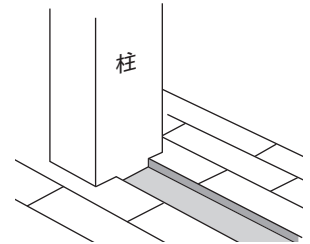
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



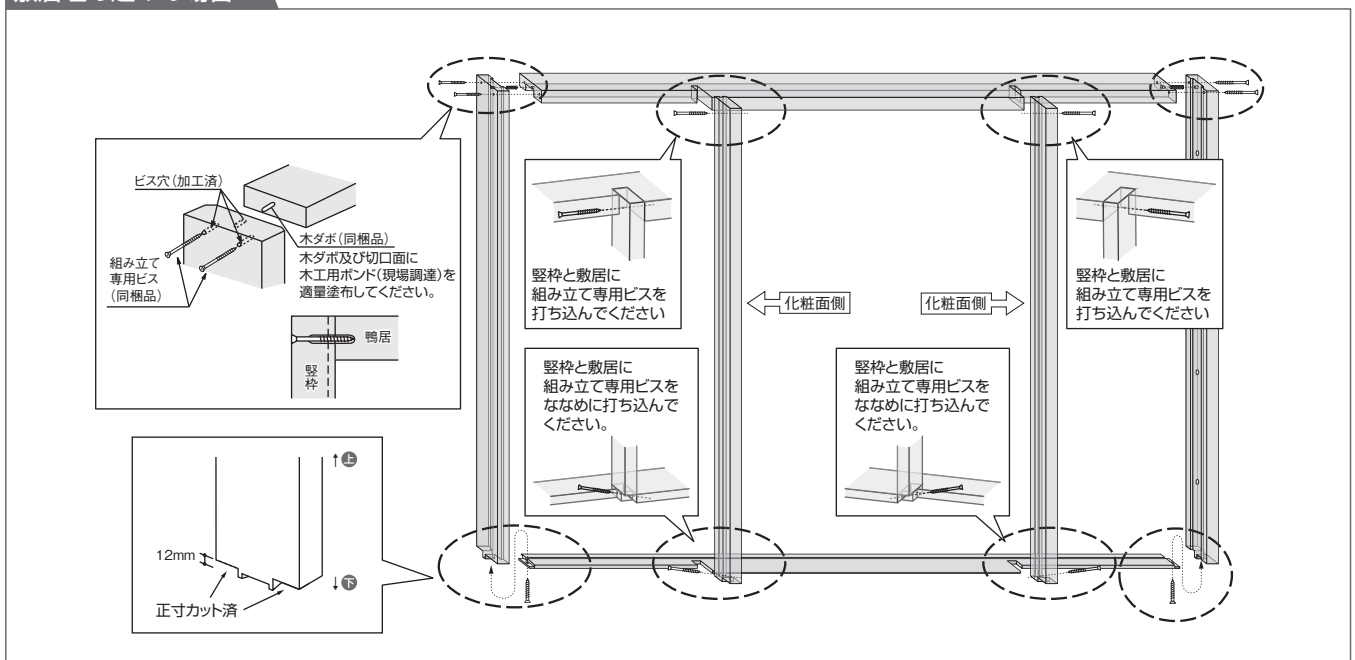
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

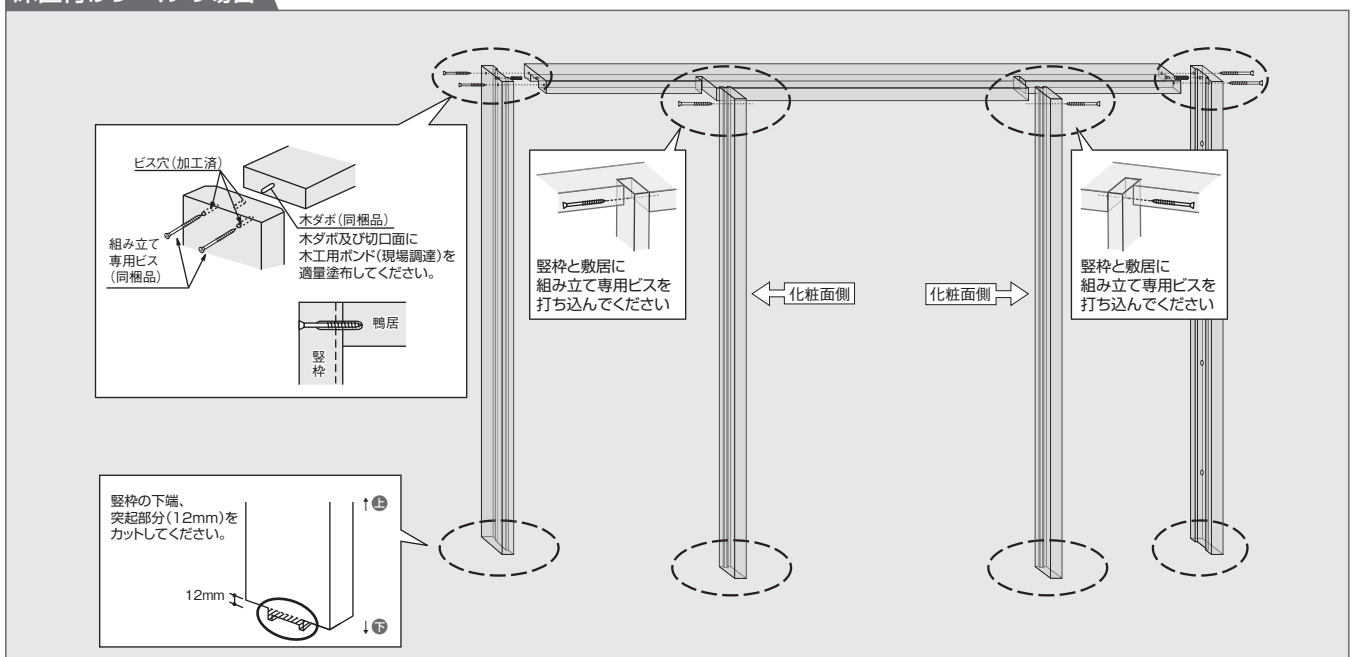
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合



4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

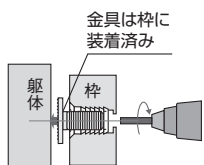
■ 4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

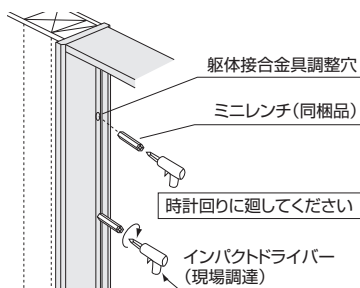
開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



ポイント 金具で突っ張らせて枠材を仮固定する



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

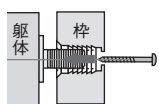


⚠ 注意

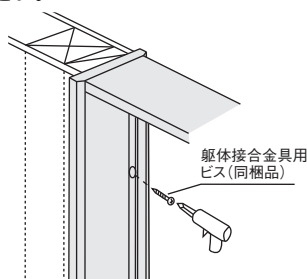
インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。

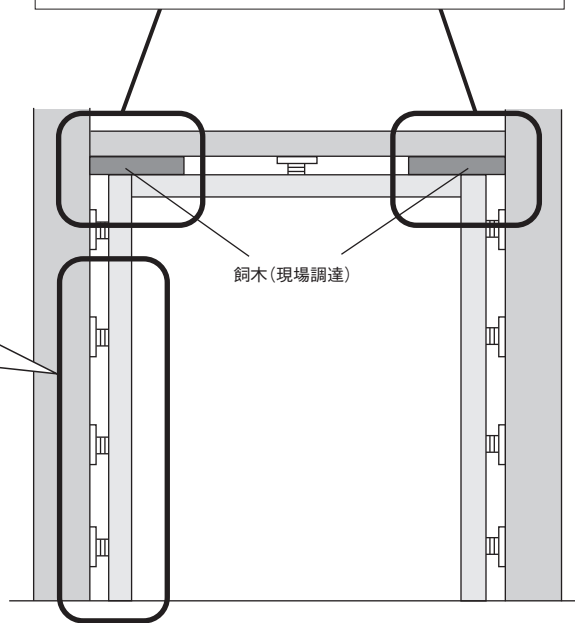


枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



⚠ 注意

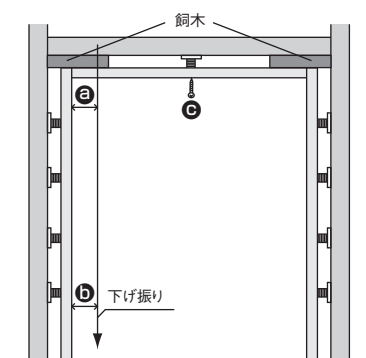
ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



5 建て付け調整と鴨居の本固定

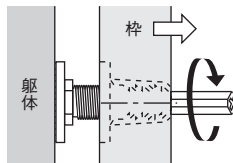
■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。



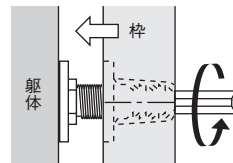
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

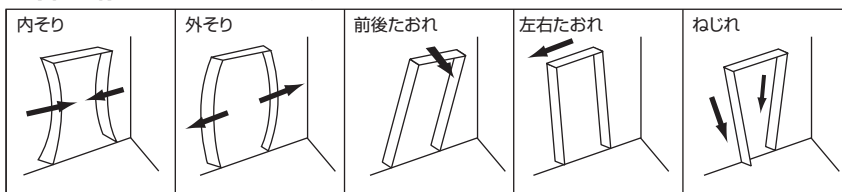


枠を外側に出す場合

反時計回り(左回り)で調整

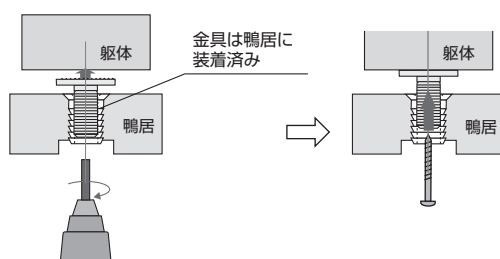


※下記の様なことがないようにご注意ください。

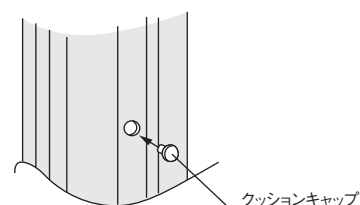


② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



③ 縦枠を調整後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

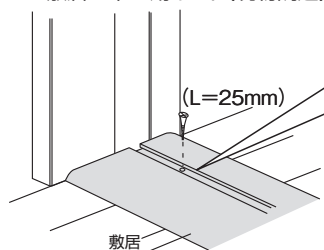


6 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

① 敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



ビス頭が残らないように
締め込む

敷居

確認

敷居を固定するビスは、ビス頭が残らないように確実に締め込んで、木くず・ゴミなどを除去し、平滑にしてください。

注意

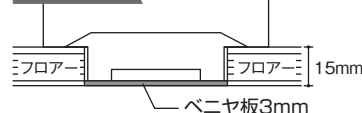
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

フロアの厚みは12mmを基準にしています。15mmフロアなど12mm以上の厚みのフロアを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

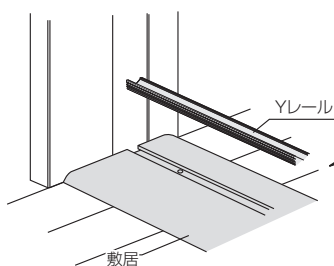
12mmの場合



15mmの場合

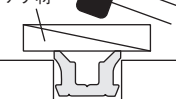


② レールの取り付け



Yレール取り付け時の注意

アテ材



Yレールをはめ込む際には必ずアテ材などを使用して、ゴムハンマーでたたき込んでください。

※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。



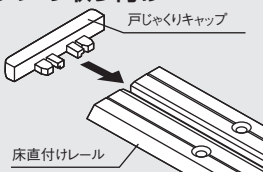
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

① 戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

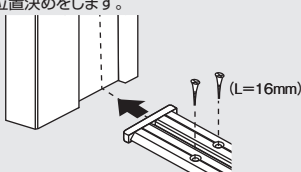


② 床直付けレール取り付け位置の確認

縦枠の戸じゃくりセンターが床直付けレールのセンターになるように位置決めをします。

同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていないと、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。

※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。



※レールのキズ防止のため、施工様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

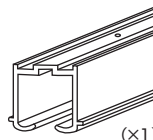
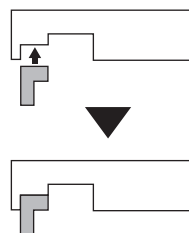
7 鴨居レールの取り付け

■ 幕板と鴨居レールの取り付け

ピノアースの場合は、鴨居レール(アルミレール)に幕板は取り付けません。

別途無垢幕板を木工用ボンド(現場調達)とフィニッシュネイルを併用で鴨居に取り付けてください。

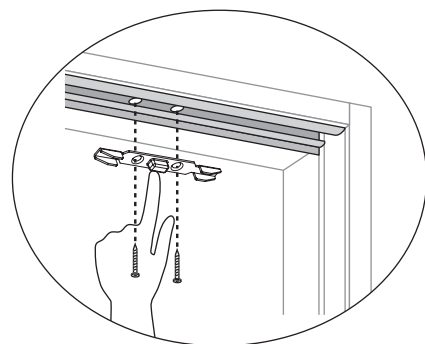
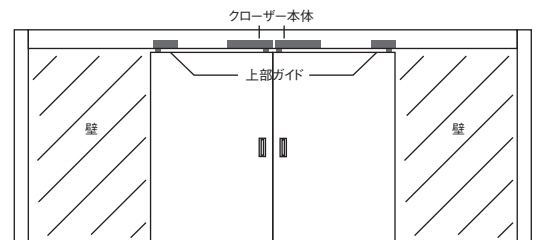
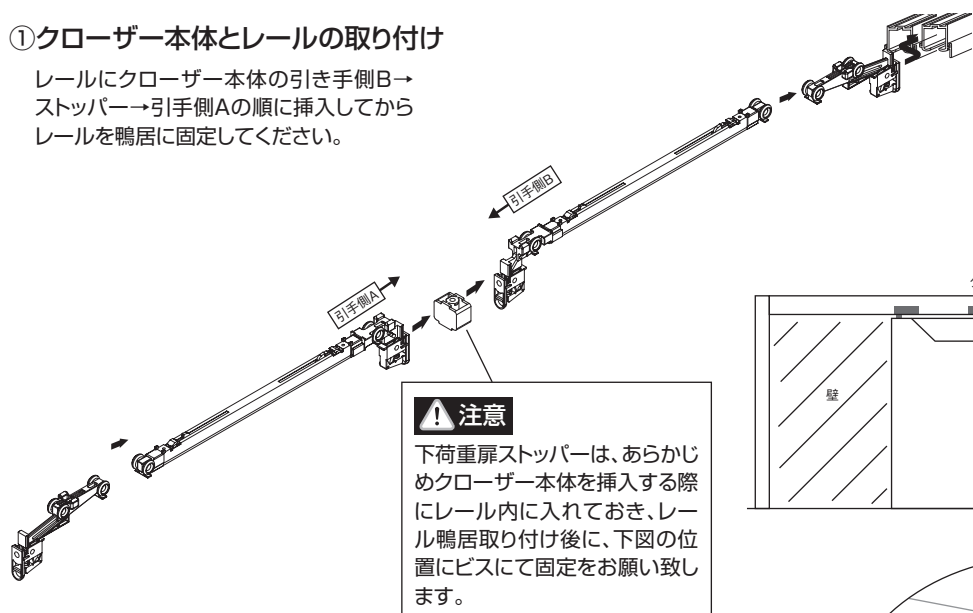
※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて両端部を現場カットしてください。



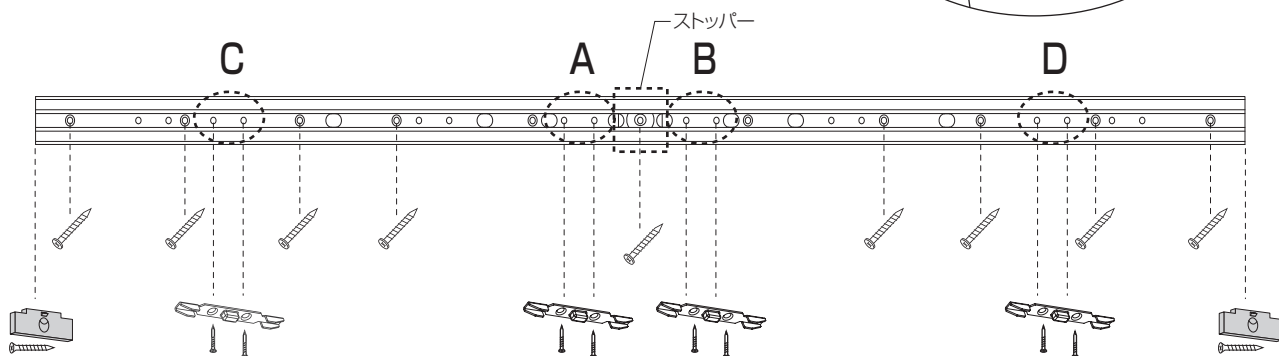
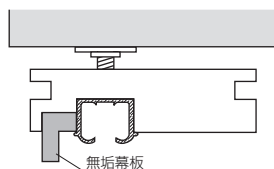
⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

①クローザー本体とレールの取り付け

レールにクローザー本体の引き手側B→
ストッパー→引き手側Aの順に挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け



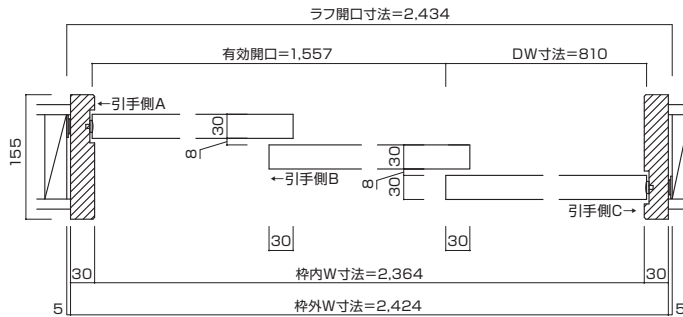
※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

【3枚引き違い戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

■ 枠製品寸法と納まり図



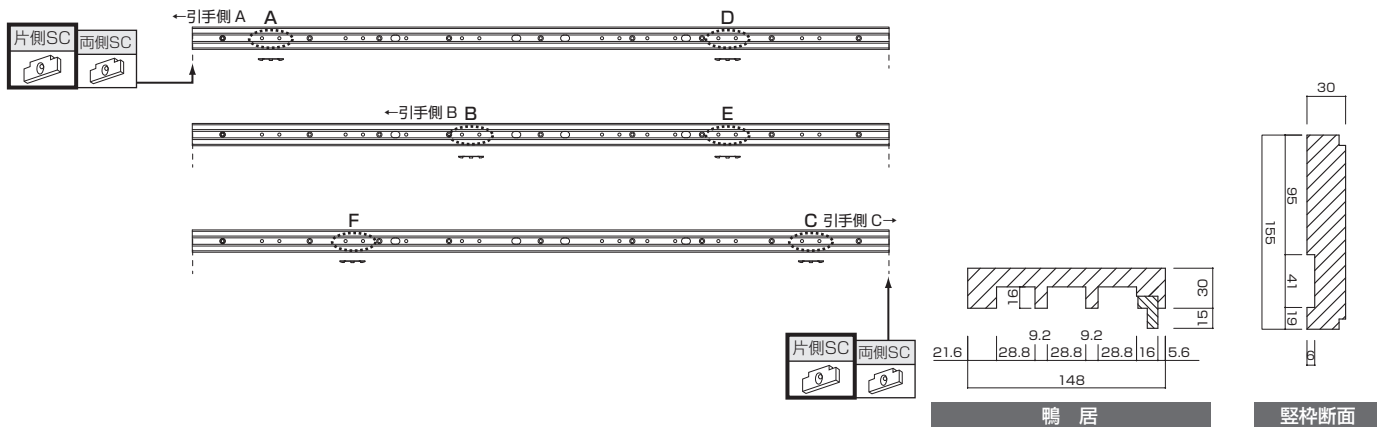
■トリガー取り付け位置

(单位:mm)

両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D・E・F
-------------	-------------

上記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

■ルール詳細図

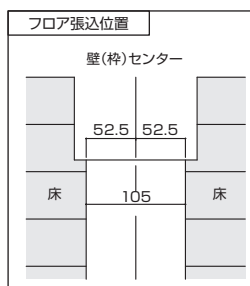
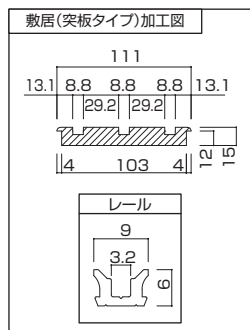
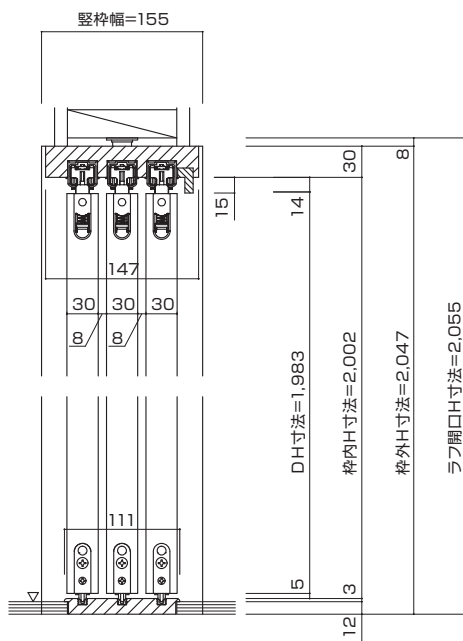


※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

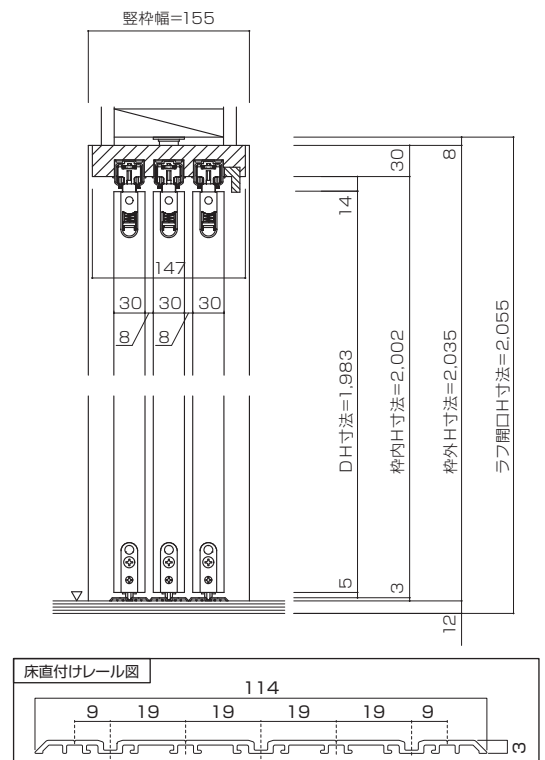
敷居埋め込みの場合

(单位:mm)



床直付けレールの場合

(単位:mm)

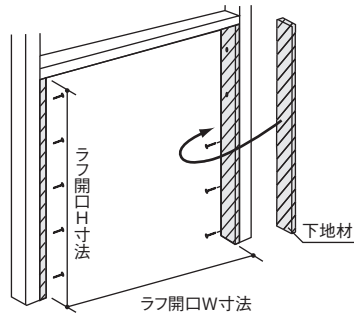


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

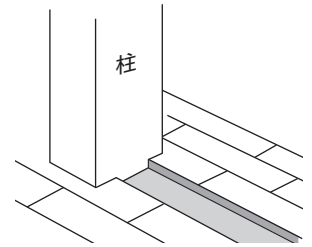
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



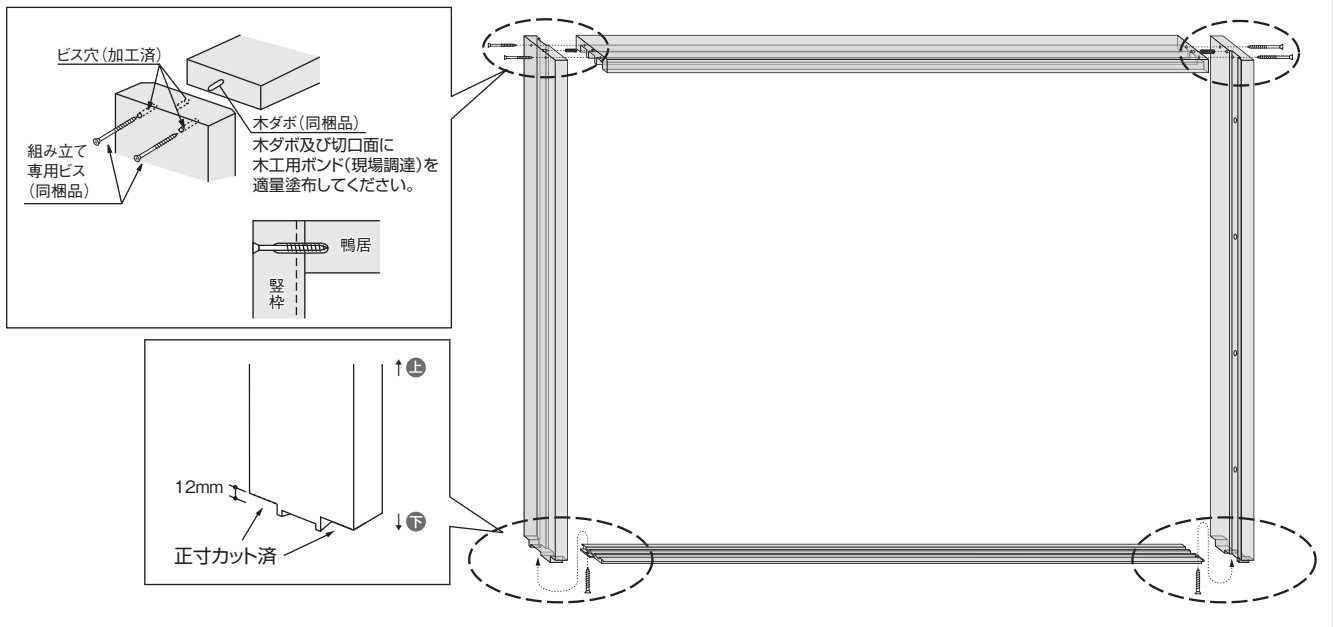
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

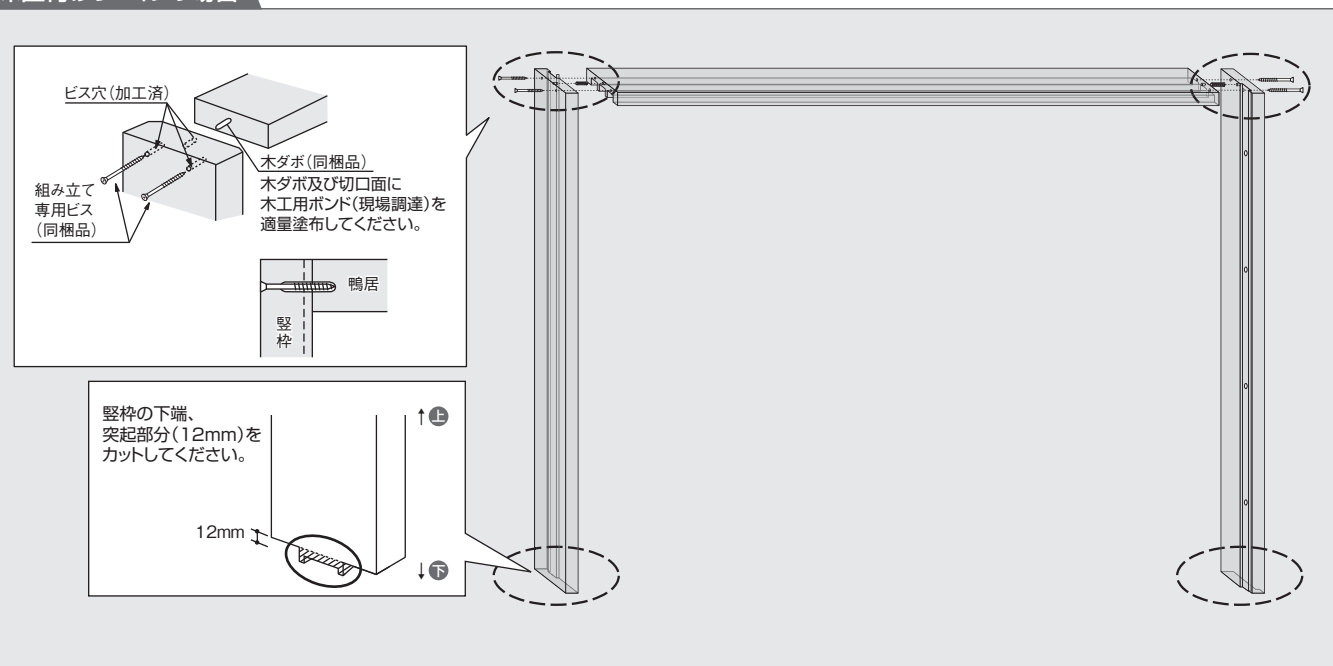
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合



4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

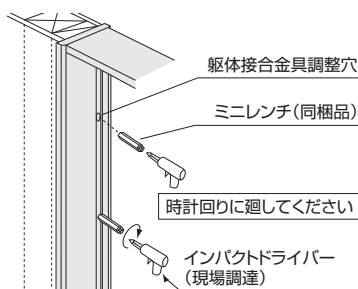
■ 4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

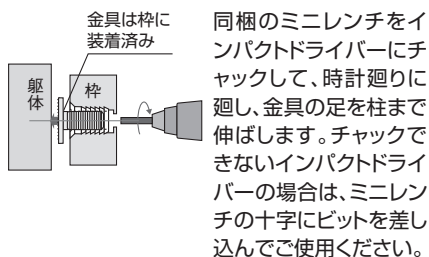


ポイント 金具で突っ張らせて枠材を仮固定する



注意

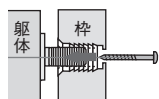
インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。



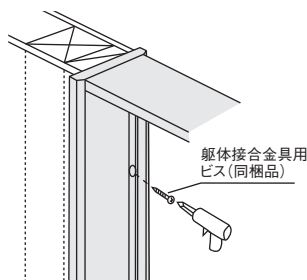
同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。

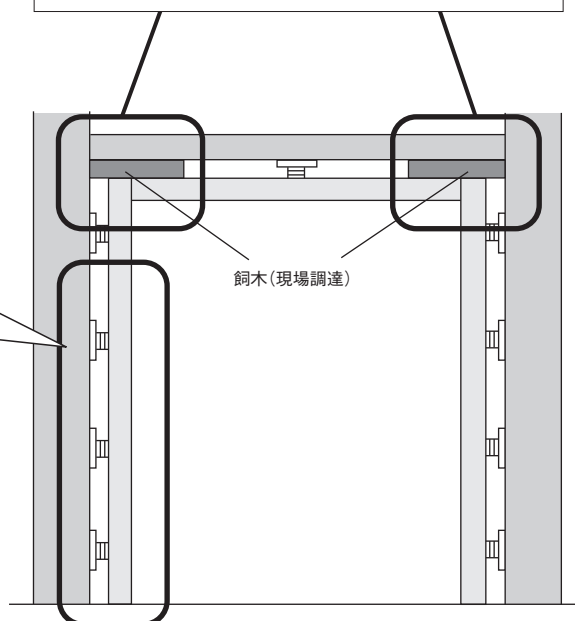


枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠材を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



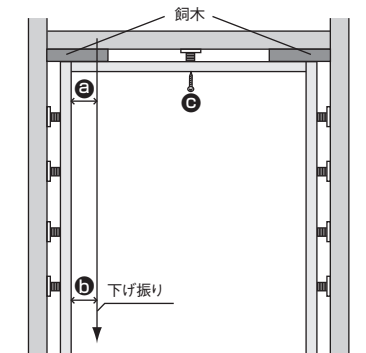
5 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

① 水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。

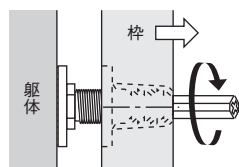
調整してください。

併せて前後の建りも調整してください。



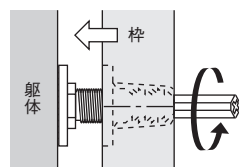
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

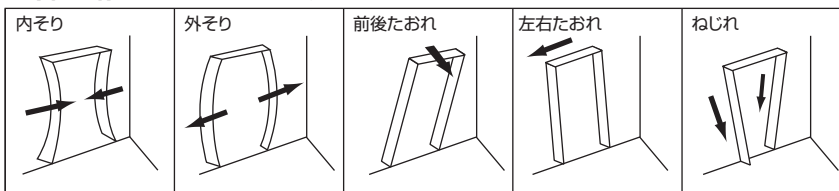


枠を外側に出す場合

反時計回り(左回り)で調整

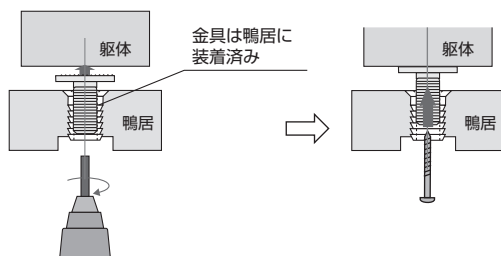


※下記の様なことがないようにご注意ください。



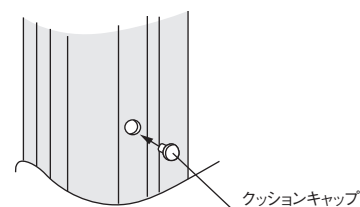
② cは建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



③ 縦枠を調整後、ビス穴に

クッションキャップを取り付けます。



6 敷居・床直付けレールの取り付け

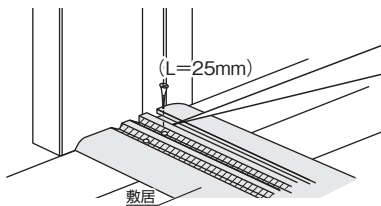
敷居埋め込みの場合

① 敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



注意
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。



ビス頭が残らないように
締め込む

敷居

確認

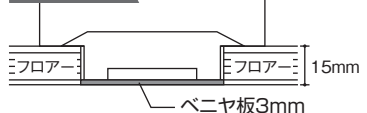
敷居を固定するビスは、
ビス頭が残らないように
確実に締め込んで、
木くず・ゴミなどを除去し、
平滑にしてください。

フロアの厚みは12mmを基準にしています。15mm
フロアなど12mm以上の厚みのフロアを使用の場
合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

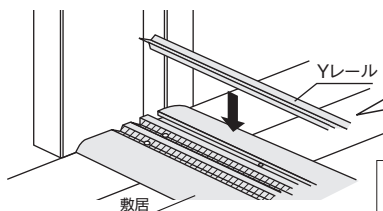
12mmの場合



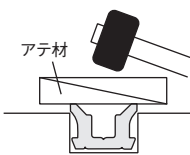
15mmの場合



② レールの取り付け

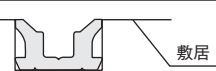


Yレール取り付け時の注意



Yレールをはめ込む際には
必ずアテ材などを使用し
て、ゴムハンマーでたたき
込んでください。

※レールが完全に敷居に入っ
ていることを確認してください。



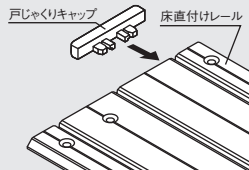
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

① 戸じゃくりキャップの取り付け

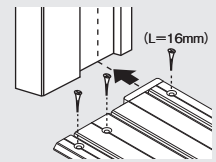
戸じゃくり部分に
接する床直付けレ
ールの端部へ、戸
じゃくりキャップ
を取り付けます。



② 床直付けレール取り付け位置の確認

同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていなかったり、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。

戸じゃくりキャップ部分が、縦枠の戸当たり溝の位置にきちんとはまるように位置決めをします。



※レールのキズ防止のため、施工入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

7 鴨居レールの取り付け



施工には必ず付属の部品を使用してください。

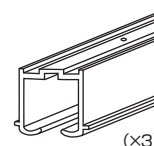
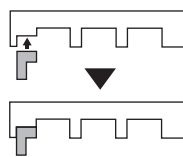
■ 幕板と鴨居レールの取り付け

ピノアースの場合は、鴨居レール(アルミレール)に幕板は
取り付けません。

別途無垢幕板を木工用ボンド(現場調達)と

フィニッシュネイルを併用で鴨居に取り付けてください。

※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて両端部を現場カット
してください。

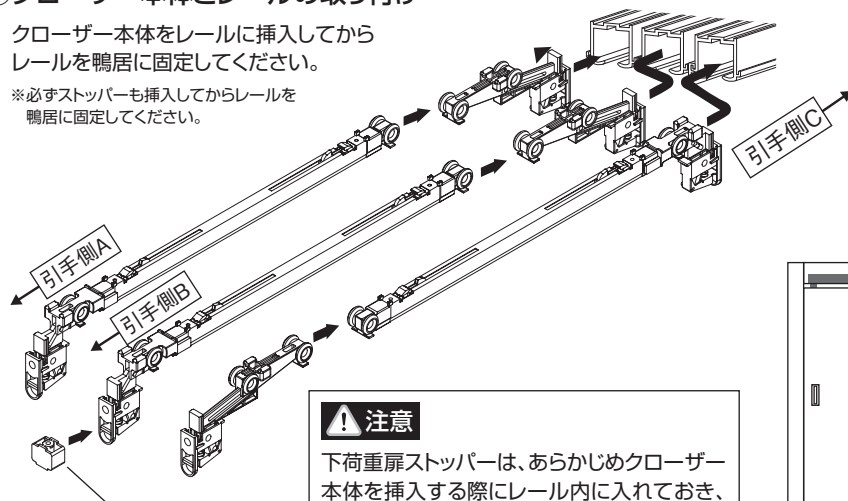


(x3)

①クローザー本体とレールの取り付け

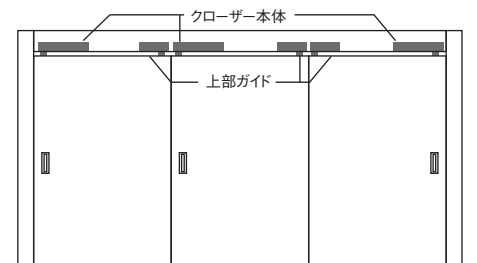
クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。

※必ずストッパーも挿入してからレールを
鴨居に固定してください。

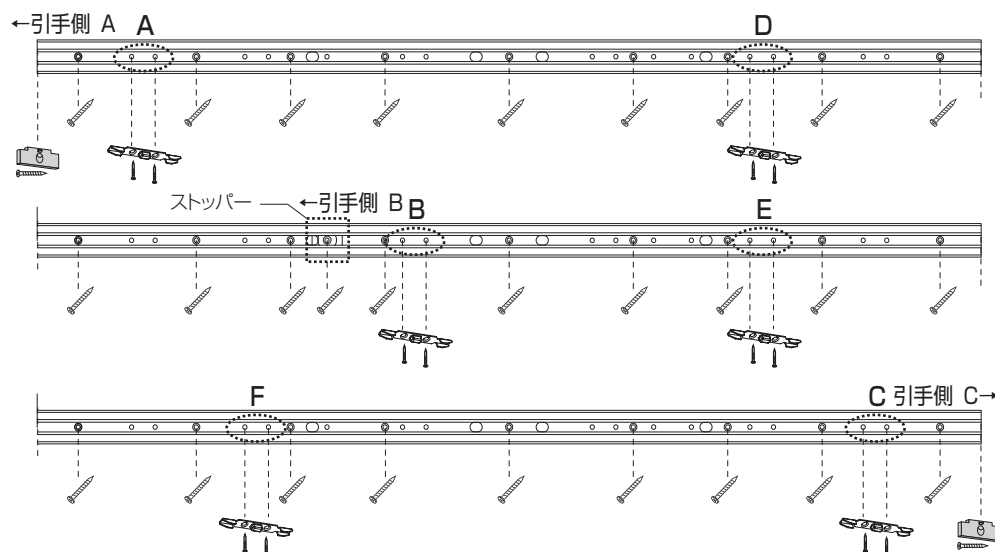
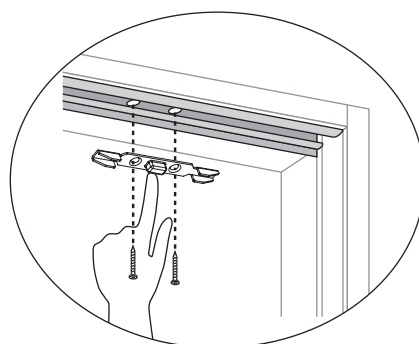
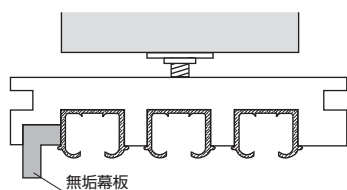


⚠ 注意

下荷重扉ストッパーは、あらかじめクローザー
本体を挿入する際にレール内に入れておき、
レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビス
にて固定をお願い致します。



②鴨居レールの取り付け



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

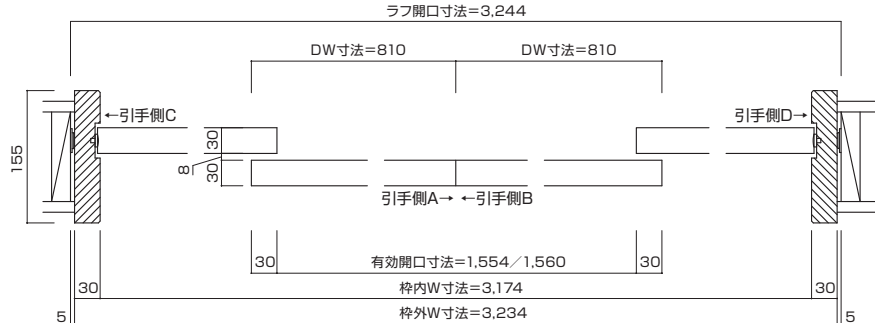
【4枚引き違い戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

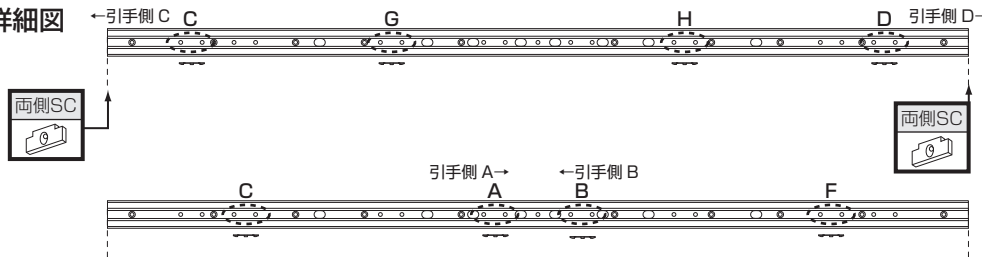
横断面図

■ 枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)

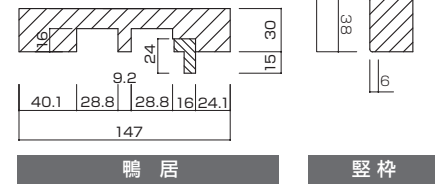


■ レール詳細図



■ トリガー取り付け位置

両側ソフトクローズ仕様 A・B・C・D
E・F・G・H

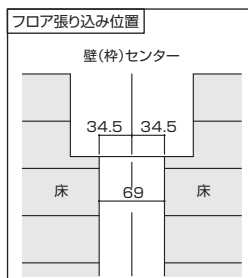
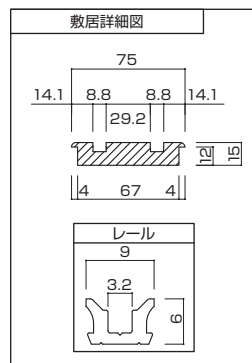
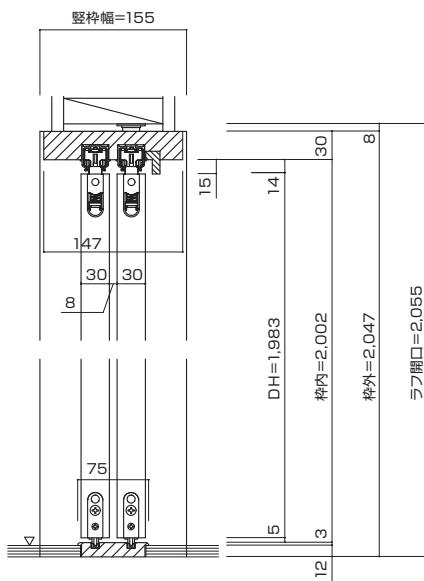


※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

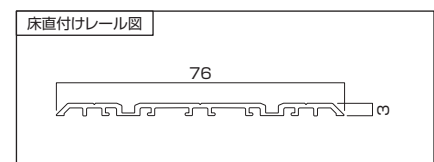
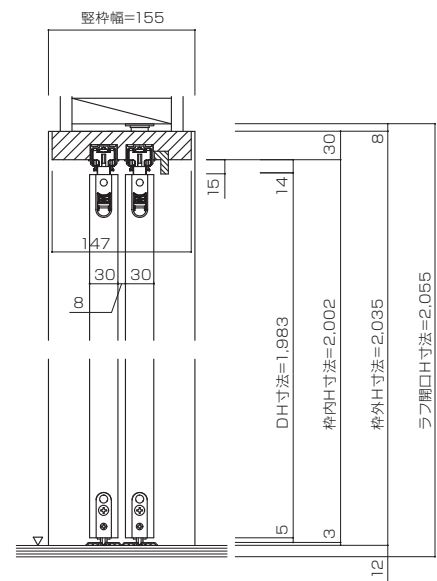
敷居埋め込みの場合

(単位:mm)



床直付けレールの場合

(単位:mm)

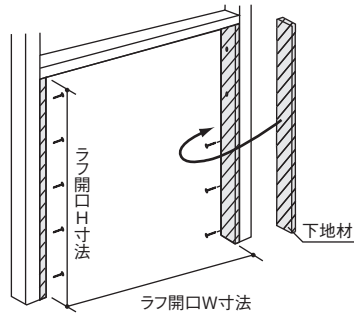


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

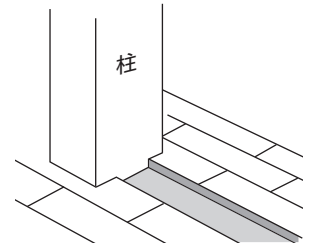
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



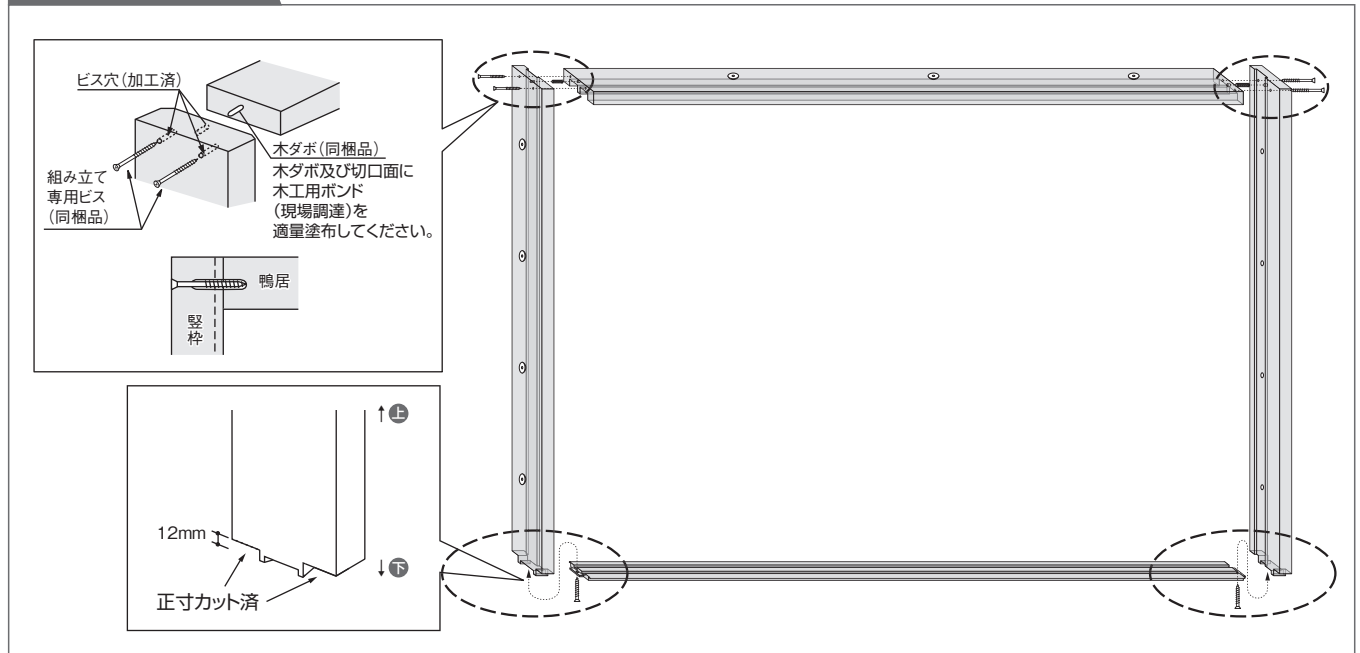
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

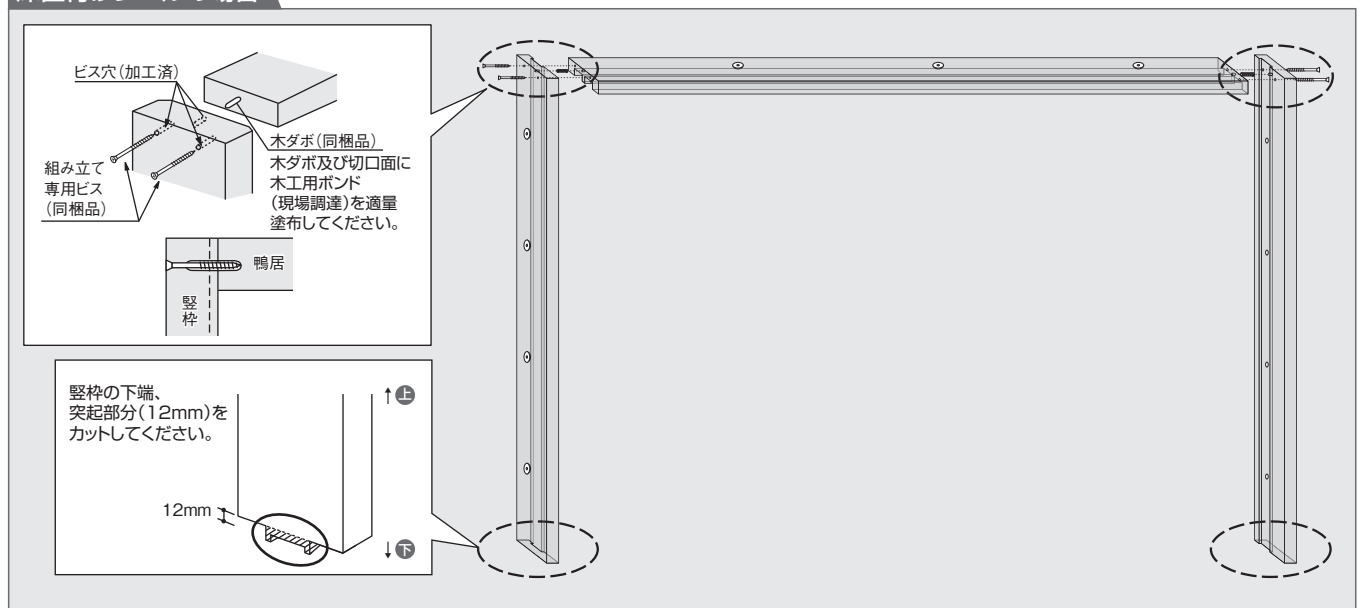
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合



4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

■ 4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する

同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。

枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)

注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

飼木(現場調達)

クッションキャップ

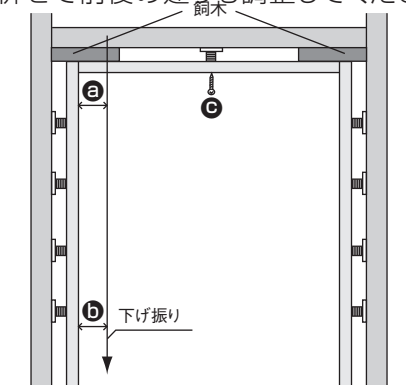
注意

インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

5 建て付け調整と鴨居の本固定

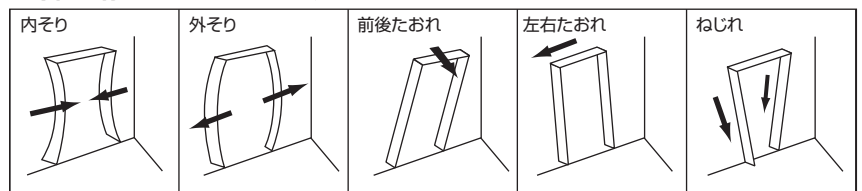
■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。



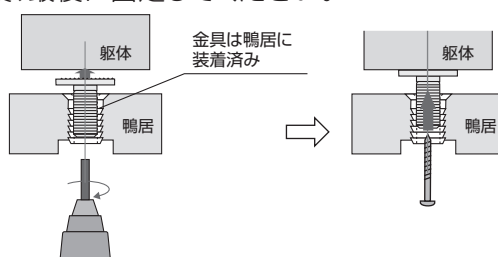
枠を内側に寄せる場合	枠を外側に出す場合
時計回り(右回り)で調整	反時計回り(左回り)で調整

※下記の様なことがないようにご注意ください。

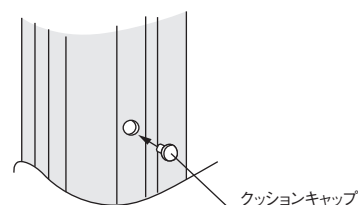


- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



- ③ 縦枠を調整後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

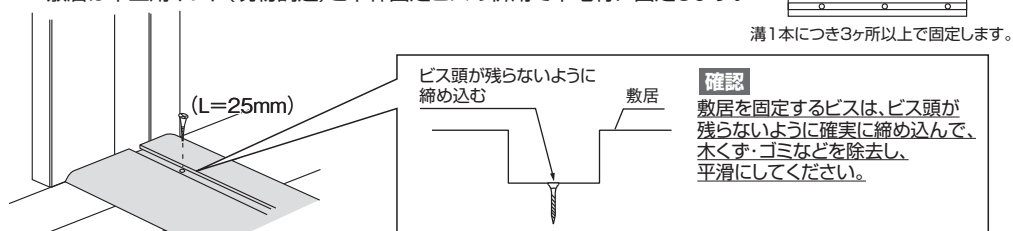


6 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

① 敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



⚠ 注意

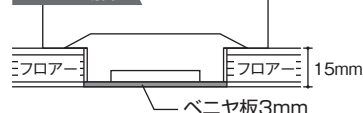
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

フローアの厚みは12mmを基準にしています。15mmフローアなど12mm以上の厚みのフローアを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

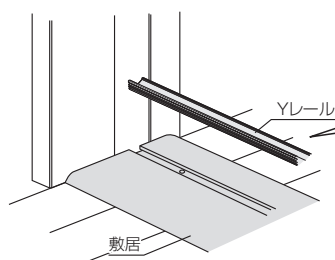
12mmの場合



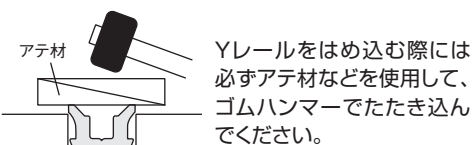
15mmの場合



② レールの取り付け



Yレール取り付け時の注意



※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。



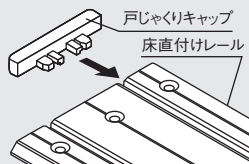
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

① 戸じゃくりキャップの取り付け

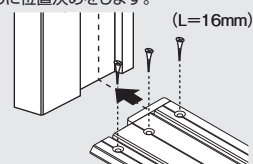
戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。



② 床直付けレール取り付け位置の確認

同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていないと、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。

戸じゃくりキャップ部分が、堅枠の戸当たり溝の位置にきちんとはまるように位置決めをします。



※レールのキズ防止のため、施工主様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

7 鴨居レールの取り付け

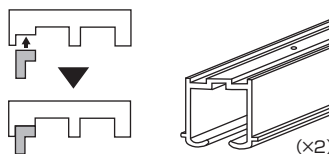
⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■ 幕板と鴨居レールの取り付け

ピノアースの場合は、鴨居レール(アルミレール)に幕板は取り付けません。

別途無垢幕板を木工用ボンド(現場調達)とフィニッシュネイルを併用で鴨居に取り付けてください。

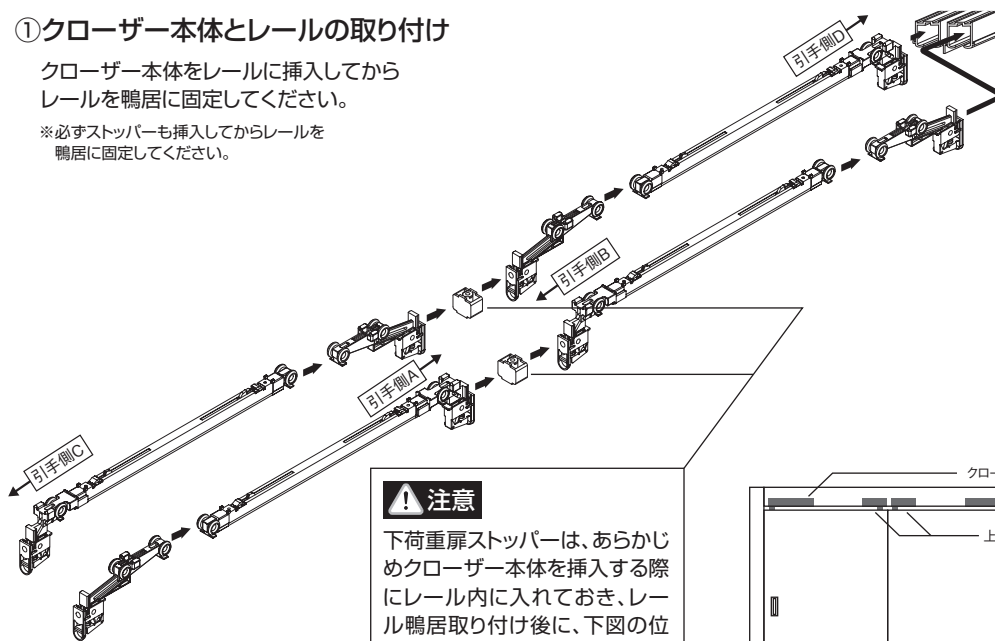
※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて両端部を現場カットしてください。



①クローザー本体とレールの取り付け

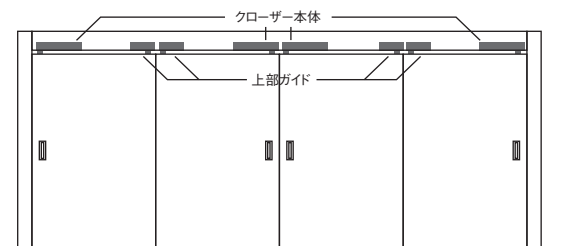
クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。

※必ずストッパーも挿入してからレールを
鴨居に固定してください。

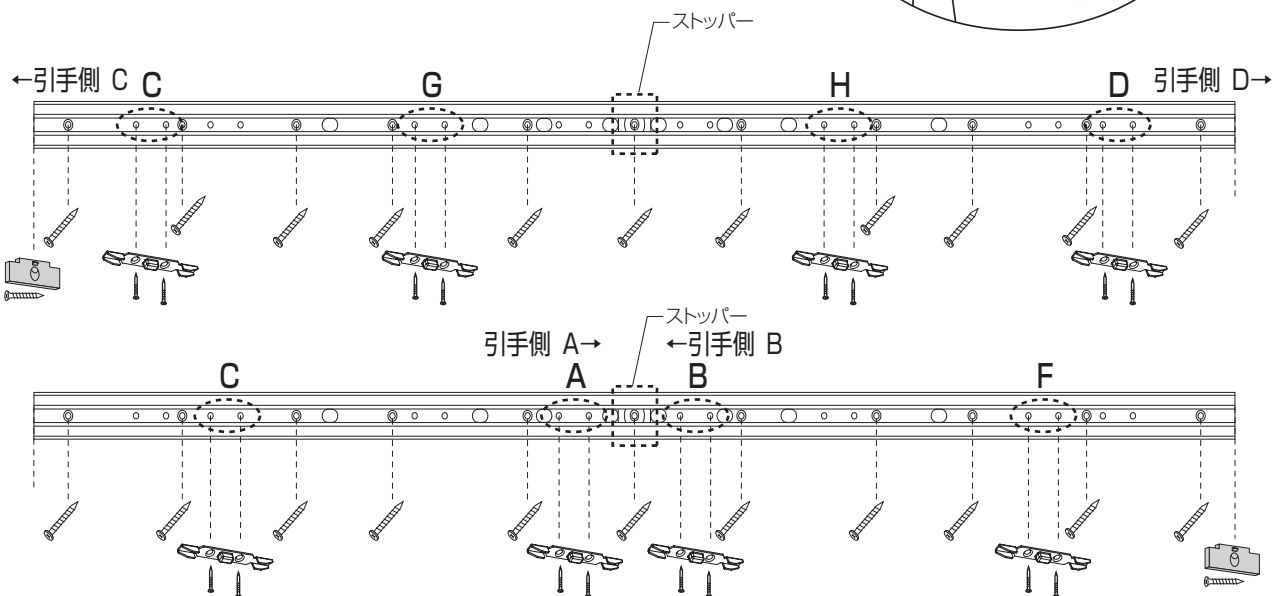
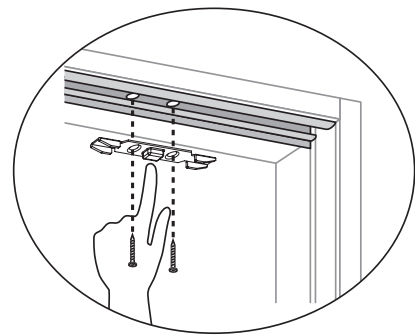
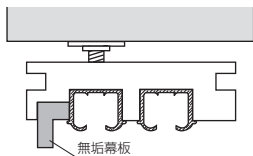


！ 注意

下荷重扉ストッパーは、あらかじめクローザー本体を挿入する際にレール内に入れておき、レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビスにて固定をお願い致します。



②鴨居レールの取り付け



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

